

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地				
専門学校東京アナウンス学院		昭和59年4月2日	船場 吉行		〒 164-0013 (住所) 東京都中野区弥生町1-38-3 (電話) 03-3375-4141				
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地				
学校法人東放学園		昭和54年4月1日	齊藤 晃		〒 168-0063 (住所) 東京都杉並区和泉2-4-1 (電話) 03-3323-8531				
分野	認定課程名	認定学科名	専任士認定年度	高度専任士認定年度	職業実践専門課程認定年度				
文化・教養	文化教養専門課程	配信クリエイター科	平成19(2007)年度	-	-				
学科の目的	自らの「好き」「得意」なことをセルフプロデュースし、ビジネスとして成立させるための知識や技術を備えた配信クリエイターを育成・輩出する								
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の好きな分野を追求できる楽しい部活空間を演出した授業を開講 ●自己発信型クリエイターになるためのサイクル①創作、②発信、③自己評価、④課題把握を2年間で定期的に繰り返し、スキルアップを図る ●カリキュラムで学ぶ領域と身に着く力…「技術の領域」①編集能力 ②SNS関連能力「表現の領域」③トーク力 ④身体表現力 ⑤歌唱力「個性の領域」⑥セルフプロデュース力 ⑦ストリーミング配信能力 								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼間	※単位数、単位いずれかに記入		1,700 単位数	45 単位数	0 単位数	1,755 単位数	0 単位数	0 単位数
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)	中退率					
60人	47人	6人	0%	4%					
就職等の状況	■卒業生数(C)		9人						
	■就職希望者数(D)		3人						
	■就職者数(E)		3人						
	■地元就職者数(F)		2人						
	■就職率(E/D)		100%						
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		67%						
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		33%						
	■進学者数		0人						
	■その他								
	・デビュー:4人・その他:2人								
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載			無					
当該学科のホームページURL	https://www.tohogakuen.ac.jp/announce/creator/								
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A:単位時間による算定)								
	総授業時数		1,700 単位数						
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		330 単位数							
うち企業等と連携した演習の授業時数		0 単位数							
うち必修授業時数		1,305 単位数							
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		330 単位数							
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		0 単位数							
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		0 単位数							
(B:単位数による算定)									
総単位数		0 単位数							
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数		単位数							
うち企業等と連携した演習の単位数		単位数							
うち必修単位数		単位数							
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数		単位数							
うち企業等と連携した必修の演習の単位数		単位数							
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)		単位数							
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを合算して六年以上となる者		(専修学校設置基準第41条第1項第1号)	1人					
	② 学士の学位を有する者等		(専修学校設置基準第41条第1項第2号)	2人					
	③ 高等学校教諭等経験者		(専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0人					
	④ 修士の学位又は専門職学位		(専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0人					
	⑤ その他		(専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0人					
	計			3人					
上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		0人							

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

高度な実践力や意欲の発揮に欠かせない人間性や自立心を育み、環境や技術等の変化が著しい当該業界において順応力を持った人材を輩出するために、①学生が享受すべき知識や技術について、連携企業との日常的なコミュニケーション・意見交換を通じて、教育課程の編成や教育環境の構築に関して、積極的に反映させる事。②就職先ともなり得る連携企業に所属する社員を講師として招聘し、実習・演習授業において実利性・専門性が高いカリキュラムを構成する事。以上を、企業等との組織的な連携の基本方針としている。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学校長を委員長とし、以下、副校長、教務教育部長の他、就職指導や就職先企業の交渉等を主な業務とする学務管理部業務主任や学科運営を主たる業務とする学科主任を学内の委員とし、学科が委嘱する業界企業の方と業界関連団体に所属し、実践の環境を熟知し、あるいはそれらを俯瞰し統括する立場の方を学外の委員として構成している。

学外委員からは当該業界の動向や変化等について、学内委員からは学事や学生の動向等について意見交換を行い、積極的な情報共有を図る。また、カリキュラムのあり方や授業の構成について、同業界において求める人材像や育むべき人間性や実践力について等、これらの具体的要件に関しても意見交換や議論を行い、教育課程決定の基とする場として位置付けている。

当委員会の内容は、学内委員により学科毎に実施されているカリキュラム会議で発議がなされ、学科担当職員との意見交換を経て、重要度の高い項目等から教育課程の編成に取り入れられる。反映された項目は、次回以降の同委員会でフィードバックがなされ、今後の会議運営に役立てる事とする。以上を教育課程の編成に関する意思決定の過程としている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令7年8月23日現在

名前	所属	任期	種別
水城 大裕	一般社団法人日本芸能マネージメント事業者協会 理事	令和5年9月1日～令和8年3月31日	①
島田 文夫	株式会社DI-BOX 代表取締役	令和6年9月27日～令和8年3月31日	③
船場 吉行	専門学校東京アナウンス学院 校長	—	—
川田 泰弘	専門学校東京アナウンス学院 教務教育部 部長	—	—
大橋 真由美	専門学校東京アナウンス学院 学務管理部 部長	—	—
鷹澤 洋介	専門学校東京アナウンス学院 配信クリエイター科 学科主任	—	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (9月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年9月27日 14:00～16:00

第2回 令和7年3月17日 14:30～16:00

0

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

委員会で交わされた意見や改善提案などは次期カリキュラム検討において熟慮し、実行する内容は可能な限り早期に取り組む。

【意見・提案】AIをカリキュラムに導入してみてもどうか

⇒学生募集にも活かそうだが、授業対応のできる講師や教職員採用が必須。引き続き人脈づくりに努める。

【意見・提案】SNSの有効活用がカギ。SNSでフォロワーをたくさん付けられるようになるとアーティストとしての成功につながる

⇒発信力をつけ、フォロワーを獲得してそれをマネタイズしてもらう事がこの学科のコンセプトなので今後も注力する。

【意見・提案】「配信」だけ切り取ると抽象的なので、何を軸(武器)にして活動するのかを見出すことが必要。この業界の魅力を伝え、学生に志を持たせて欲しい。

⇒著名な配信者など、ゲスト講師による講座を打つと学生に響くかも知れない。特別講座などを検討していく。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

セルフプロデュース力に長け、配信をビジネスとして成立させるための知識や技術を備えたクリエイターを育成・輩出するため、次のポイントを踏まえて企業等と連携を図る。

①ライブ配信、SNS、芸能業界に広く通じていて現場で必要とされる力やトレンド、課題に意識を持ち、カリキュラムを編成するにあたり有用なアドバイスを得られる企業を選定すること ②企業・業界団体から随時適切な助言を得て実習授業に反映し、学生に還元すること ③企業との連携により生まれる人脈から新たな講師を迎えたり、学生の現場体験の機会創出、進路先開拓を積極的に行うこと

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

ライブ配信や各種SNSを使用していく中で、必須となる技術やセキュリティについて学ぶ。その上でライブ配信、X、Instagram、などのSNSを活用したファンの増やし方や熱量の高め方を学習していく。まず、各種SNSの特徴やライブ配信に関する基礎知識や、成功事例を講義形式で学ぶ。その後、実際にアカウントを作成し、SNSの運用やライブ配信を実際に行い、ファン作りを直に体験する。コンテンツ制作においては撮影、録音、編集、テロップ、MAの具体的手順や作業を学び、自身で制作・アップロードを出来るようにする。更にはそのアナリティクス分析をすることで投稿の改善プロセスを理解し、質の向上を図る。また、アニメやゲームの分野においてコスプレイヤーは職業として事務所に所属し報酬を得ている。その職業理解や自らを客観視し、自己プロデュース能力を高める目的でコスプレの全体像を掴む。関連業界企業の講師からは実務に即した実践的な授業が展開される。

学修成果については期末に実技試験を行い、企業が目線から到達度・成長度・取り組み姿勢・参加状況などを総合的に勘案し、評価付けをしている。また、本番発表などのステージがある授業はその成果を個別に、そしてチームとしても評価し、成績付けの根拠としている。上記の他、3月には学校全体の講師会を開催。当年度の振り返りと次年度授業に向けて情報共有・方針発表・授業依頼・懇親の場を設けている。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
配信基礎演習	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	各種SNSの特徴やライブ配信に関する基礎知識・成功事例・ネットリテラシー・炎上対策などを講義形式で学ぶ。	株式会社SILKSUITE (※2025年度連携企業変更:2024年度は株式会社U-STORM)
ライブ配信実習	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	配信基礎演習で学んだ知識を活かして、SNSの運用やライブ配信でファン作りを直に体験する。	株式会社SILKSUITE (※2025年度連携企業変更:2024年度は株式会社U-STORM)
SNS動画クリエイト実習基礎	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	映像に関する基礎知識・撮影・録音・編集・テロップ入れ・MAを学び、映像を完成させる。SNSにアップロードする基礎を学び、自分自身で実践出来るようになる。	株式会社プラスラボ
SNS動画クリエイト実習Ⅱ	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	「映像を作りアップする」を習慣として出来るようになること、見てもらえる映像を制作、ファン獲得を目指す。	株式会社プラスラボ
進級制作	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	企画出し、台本作成、準備、撮影、編集、MAの映像制作等全てを自分たちで作っていき、作り上げたものを進級発表で発表する。	株式会社プラスラボ

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係	
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記	
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 本校では「東放学園 教員研修規程」として教員研修の目的、方針、教員の責務、報告などの事項を定めており、教員の業務経歴や能力、担当する授業科目等に応じ、専攻分野の実務に関する知識、技術、技能並びに、学生に対する指導力等、教員の能力及び資質等の修得・向上を図るため、適宜、企業等の連携した研修を行うことを基本方針としている。	
(2)研修等の実績	
①専攻分野における実務に関する研修等	
研修名: 【バーチャル×WEB広告】Vライバーを活用した最新マーケティング支援施策とは？	連携企業等: バリュエーション(株)／(株)321共催
期間: 2024年10月29日 16:00～17:00 ※オンライン	対象: 配信クリエイター科専任教員
内容: ●Vライバーとは ●VTuber/Vライバーマーケティングの特徴 ●新施策の内容	
研修名: 【事業成長の新戦略】VTuberを活用したブランディングとマーケティング	連携企業等: バルス株式会社
期間: 2024年11月8日 16:00～18:00	対象: 配信クリエイター科専任教員
内容: ●VTuberとは何か？市場の現状と成長性 ●VTuberを活用したマーケティングの魅力 ●YouTuber・VTuberの違いとその影響力-ご当地VTuberの活躍- ●企業によるVTuber活用事例とその解釈 ●自社でVTuberを導入する際のポイント	
研修名: XR KaigiXR2024 メタバースがテーマの国内最大級カンファレンス	連携企業等: 株式会社Mogura
期間: 2024/12/12 10:00～18:30	対象: 配信クリエイター科専任教員
内容: XRなどバーチャル領域の担い手に向けて「共有し、繋がり、高め合う」を目的に開催する国内随一の業界カンファレンス。開発者、経営層、マーケティング担当、教育関係者、学生までを対象とし、最新のテクノロジーや活用法はもちろん、業界との繋がりを作る大変重要なイベント・会議・研修会である。	
②指導力の修得・向上のための研修等	
研修名: ライブ配信メディアに時間もお金も使う若者たち～Z世代への新たなアプローチ方法を考える～	連携企業等: 株式会社ビデオリサーチ
期間: 2024年9月11日 16:00～17:00	対象: 配信クリエイター科専任教員
内容: ●ライブ配信メディアとは…ライブ配信メディアを解説。学生が就く仕事の一つとしても考えられる。 ●ライブ配信の魅力…若者に刺さる配信者とは。 ●ライブ配信はなぜZ世代に人気なのか…自分の居場所を求めて多くの若者が集まる。推し活とは。 ●ライブ配信市場における広告PR手法の特徴と効果	
研修名: 障害者差別解消法セミナー～合理的配慮義務化への対応～	連携企業等: 公益財団法人日本ケアフィット共育機構
期間: 2024年9月17日 10:00～11:30	対象: 配信クリエイター科専任教員／教職員
内容: ●障害について理解を深める ●障害の個人(医学)モデルと社会モデル ●障害者差別解消法制定の流れ ●社会的障壁(バリア)について ●障害者差別解消法とは ●学校における合理的配慮の例	
研修名: Z世代の学生を指導するための「SNS講習会」	連携企業等: 株式会社NextTeachers
期間: 2024年10月22日 15:00～16:00	対象: 配信クリエイター科専任教員／教職員
内容: ●現在のSNSやSNSマーケティングの潮流や流行について ●学校がSNSアカウントを持つ意味／学校SNSへのレビュー ●SNS運用のテクニック ●SNSでのトラブル事例、NG事例集 ●質疑応答	

(3) 研修等の計画		
① 専攻分野における実務に関する研修等		
研修名:	登録者合計1000万人超のVTuberプロダクションをX広告に起用!	連携企業等: 株式会社Minto
期間:	2025年5月8日 14:00~15:00 ※オンライン	対象: 配信クリエイター科専任教員
内容	●Brave group:「ふいすぽっ!」紹介 ●X Corp.Japan(株):Xの現状・話題になるコンテンツ ●(株)Minto:企画・制作事例他	
研修名:	今話題のTikTok Shopとは? 使い方から事例まで簡単解説!	連携企業等: 株式会社Fin T
期間:	2025年5月29日 13:00~14:00 ※オンライン	対象: 配信クリエイター科専任教員
内容	●TikTok Shopとは ●TikTok Shopの活用事例 ●今後のSNSやECの在り方 ●Fin T社の支援実績紹介他	
研修名:	最新版! Instagramアルゴリズム完全攻略 企業公式アカウントで実施すべき施策とは?	連携企業等: 株式会社コムニコ
期間:	2025年7月16日 13:00~14:00(オンライン)	対象: 配信クリエイター科専任教員
内容	●Instagramでの広報宣伝強化、新規ファンを獲得するための知識を得る ●質疑応答他	
② 指導力の修得・向上のための研修等		
研修名:	リクルートマネジメントソリューションズ動画セミナー 「今の時代の新人若手の生かし方・育て方」	連携企業等: 株式会社リクルートマネジメントソリューションズ
期間:	2025年7月3日 10:00~11:00(オンライン)	対象: 配信クリエイター科専任教員/教職員
内容	●Z世代の傾向と育てたい力 ●効果的な育成施策 ●リクルートマネジメントソリューションズが取り組むアップデート	
研修名:	アサーティブコミュニケーション研修	連携企業等: 株式会社インソース
期間:	2025年度中随時	対象: 配信クリエイター科専任教員/教職員
内容	●自分のコミュニケーションパターン把握~アサーティブになれない具体的場面を考え、現状を客観視する ●コミュニケーションの基本を習得~相手から信頼を得る聴き方や相手に納得してもらえる伝え方 ●言いにくいことを伝える方法の習得~具体的なケーススタディによる練習	
研修名:	令和7年度 就職等進路に関するセミナー	連携企業等: 公益社団法人東京都専修学校各種学校協会
期間:	2026年1月頃(2024年度実績より)	対象: 配信クリエイター科専任教員/教職員
内容	I【雇用環境のリアル】ここまで開く新卒と中途採用 II【学生就活】現場で感じる3津の課題 III【2025業界動向】 ※Zoomを利用したオンライン形式で実施 (2024年度実績より)	

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

- ①教育の一層の充実を図り、学校の目的および社会的使命を達成するため、各校における教育活動等の状況について定期的に関係者評価を行い、随時改善を図ることを目的とする。
- ②学園は充実した学校評価制度の構築に努め、各校・各部門はこれを実施する体制を整える。
- ③各校・各部門は、情報公開を念頭に置き、より高い基準を設定し関係者評価を実施する。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	使命、行動指針、教育方針、理念、目的、育成人材像
(2)学校運営	運営方針、事業計画、運営組織、人事・給与制度、意思決定システム、情報システム
(3)教育活動	目標の設定、教育方法・評価等、成績評価・単位認定等、資格・免許取得の指導体制、教員・教員組織
(4)学修成果	就職率、資格・免許の取得率、卒業生の社会的評価
(5)学生支援	就職等進路、中途退学への対応、学生相談、学生生活、卒業生・社会人
(6)教育環境	施設・設備、学外実習・インターンシップ等、防火・安全管理
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動、入学選考、学納金口
(8)財務	財務基盤、予算・収支計画、監査、財務情報の公開
(9)法令等の遵守	関係法令・設置基準の遵守、個人情報保護、学校評価、情報公開
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献の取り組み、ボランティア活動の取り組み
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

評価項目それぞれに対し、各委員から積極的かつ前向きなご意見をいただいた。それを職員間で共有し、様々な面から学校の改善に役立てている。

【意見・提案】VTuberや留学生の進路先をより広く開拓すべき

⇒学科名を変更した配信クリエイター科の進路先開拓は急務で、関連の見本市や展示会などでも企業との交流を図り人脈を広げた。また、留学生支援においては、在籍数が一番多い声優科が職業実践専門課程の認定を受けることで、進路先企業の幅が広がる。結果、2024年度に申請をし、認定を受けることができた。

【意見・提案】専門学校でも探求学習のような授業はあるか

⇒先生から学生に対して一方通行のような授業は学生の注意力も散漫になり、学習効果も高く望めないことから、殆どが双方向のやりとりをもつ実習授業となっている。今後は学生が自ら課題を見つけ、あまたある情報を的確に収集・選定し分析することで問題解決能力向上を望める授業を増やして行く。

【意見・提案】学生ボランティア活動はどのくらいあるか。ただし、ボランティアには一切強制力を持たせてはならない。

⇒学生のボランティア活動にサークルのようなものはなく、依頼を受けての活動が殆どである。今後は地域との交流や社会貢献の面からも、受けの活動だけではなく学校・学生から社会に発信していけるよう、SNSなども通じて啓蒙していきたい。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
中山 博実	一般社団法人日本芸能マネージメント事業者協会 理事	令和7年4月1日～令和9年3月31日	進路先及び関連業界関係者
中濱 敏彦	星槎国際高等学校 星槎中野サテライトキャンパス フェリーチェ高等学院 教頭口	令和7年4月1日～令和9年3月31日	高等学校教諭
坂上 晶	専門学校東京アナウンス学院 放送声優科卒業生	令和6年4月1日～令和8年3月31日	卒業生
田頭 心	声優科1年生保護者	令和7年4月1日～令和9年3月31日	在校生保護者

授業科目等の概要

#REF!	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			進級制作	企画出し、台本作成、準備、撮影、編集、MAの映像制作等全てを自分たちで作っていき、作り上げたものを進級発表で発表する。	1・後	60	2			○	○			○	○
2	○			配信基礎演習	各種SNSの特徴やライブ配信に関するの基礎知識・成功事例・ネットリテラシー・炎上対策などを講義形式で学ぶ。	1・前	30	1			○	○			○	○
3	○			ライブ配信実習	配信基礎演習で学んだ知識を活かして、SNSの運用やライブ配信でファン作りを直に体験する。	1・後	30	1			○	○			○	○
4	○			SNS動画クリエイティブ実習基礎	映像に関する基礎知識・撮影・録音・編集・テロップ入れ・MAを学び、映像を完成させる。SNSにアップロードする基礎を学び、自分自身で実践し出来るようになる。	1・前	30	1			○	○			○	○
5	○			ダンスレッスンⅠ	ダンスに必要な基本的な身体の使い方、表現力を養う。課題曲の理解を深めて自分なりに表現をするパフォーマンス性を身につける。	1・前	30	1			○	○			○	
6			○	ダンスレッスンⅡ	ダンスレッスンⅠで習得したステップを実際に振付で使用し実践を重ねていく。	1・後	30	1			○	○			○	
7	○			ヴォーカルトレーニングⅠ	発声の基礎を習得し、安定した声で歌唱やスピーチができるようになる。個々の声質や癖、特性を自覚し、活かした声で自己表現できることを目指す。	1・前	45	1			○	○			○	
8	○			ヴォーカルトレーニングⅡ	ヴォーカルレッスンⅠで学んだ基礎をさらに発展させ、歌の自己表現力をさらに磨く。	1・後	45	1			○	○			○	
9	○			ヴォーカルレコーディングⅠ	レコーディングスタジオの環境に慣れ、歌を録音する手順を覚える。自分の歌(声)を客観的に聞く力を身につける。	1・前	45	1			○	○			○	
10	○			ヴォーカルレコーディングⅡ	ヴォーカルレコーディングⅠで学んだ経験を発展させ、自分の歌(声)を客観的に聞き、より良くするための歌唱・編集などを身につける。	1・後	45	1			○	○			○	
11	○			ヴォイストレーニングⅠ	発声の基礎を呼吸から学び、体との連携を高め、負担なく大きい声が出せるようにする。	1・前	30	1			○	○			○	
12	○			ヴォイストレーニングⅡ	ヴォイストレーニングⅠの発生基礎を継続して、大きな声を出し続けられる体づくりを目指す。発声練習に加えて、良い発声で課題曲を歌う練習をする。	1・後	30	1			○	○			○	

13	○		演技・パフォーマンス基礎Ⅰ	「表現すること」、「人前に立ち自分自身を曝け出す事」に慣れる。聞きやすい発声・滑舌の強化。豊かな表現力を身につける。	1・前	30	1				○	○					○	
14	○		演技・パフォーマンス基礎Ⅱ	「動きや立ち位置」「声の表現」など、演技の要素を細かく分け、それぞれに特化したオリジナルの「台本」や「ゲーム」を活用し、実践的に演技に挑戦する。	1・後	30	1				○	○						○
15		○	ヴォーカルパフォーマンス演習	人前で歌う事を想定し、立ち方、リズムの取り方、簡単なステップなど基礎的な動きを歌に取り入れる。実際にステージに立ち歌うことを経験し、ステージ上での所作、マイクの使い方、視線の置き方など実践的に学ぶ。	1・前	30	1				○	○						○
16		○	ヴォーカルライブ実習a	ステージで歌う際の動きや振付を意識して実際に観客がいる舞台上で歌唱パフォーマンスをする。人前に立つ事に慣れるための練習をする。	1・後	45	1				○	○						○
17	○		DTM MIX Ⅰ	DAWソフトの基本的な操作や知識を身に着ける。自分の歌をカラオケBGMとMIXさせ、聞きやすい音源を制作する。	1・前	30	1				○	○						○
18	○		DTM MIX Ⅱ	DTM MIX Ⅰで学んだことを発展させ、リバーブ・イコライザー・コンプレッサーなどエフェクトをかけて音楽制作の楽しさを知る。	1・後	30	1				○	○						○
19	○		配信トーク	SNSなどにおけるトークに関する基本を学ぶ。トークスキルをアップさせるため、想像力、思考力、瞬発力、表現力、知識力の色んな訓練を行う。	1・通	30	1				○	○						○
20	○		企画構成Ⅰ	テレビ・ラジオ・配信・イベントなどの企画を立案し、実現するスキルを身につける。テレビ・ラジオ・配信・イベントなどの企画を立案し、実現するスキルを身につける。	1・通	30	1				○	○						○
21	○		セルフプロデュース	SNSで自己発信ができる時代において、急激な変化をしているクリエイター業界の最新情報を得て今後の進路に活かす。オーディションのための自己PR方法なども学ぶ。	1・通	30	1				○	○					○	
22	○		ヴォイスドラマⅠ	発声から滑舌、声の表現の基礎を学ぶ。マイクの使い方や声の演技、キャラクターボイスの作り方について理解する。	1・後	30	1				○	○						○
23		○	コスプレ入門	自身のなりたい姿や好きなキャラクターを想定し、メイク・ポージング・衣装の準備などに必要な知識を身に着ける。	1・後	15	1				○	○						○
24		○	アイコン制作入門	イラスト制作ソフト（clipstudio）に慣れる。自身のアイコン用イラストの制作をする。楽しみながら基本的な操作を身に着ける。	1・前	15	1				○	○						○
25		○	VTuberプレイゼミ	「自分とVTuber」をテーマに自分で何かを考えて研究をする。企画・課程・成果を授業内でプレゼンテーション発表をする。	1・通	30	1				○	○					○	
26	○		芸術鑑賞Ⅰ	ライブやイベントを課外授業にて鑑賞し、エンターテインメント業界への知識を深める。	1・通	30	1				○		○	○				
27		○	イベントゼミⅠ	体験入学や学園祭など、配信クリエイター科の学校行事やイベントのスタッフを経験することによって、就職や自分の活動など社会に出てから役立つ対応能力を養う。	1・通	30	1				○	○					○	

42		○	ヴォーカルライブ実習c	ステージで歌う際の動きや振付を意識して実際に観客がいる舞台上で歌唱パフォーマンスをする。人前に立つ事に慣れるための練習をする。	2・前	45	1				○	○			○	
43		○	ヴォーカルライブ実習d	ステージで歌う際の動きや振付を意識して実際に観客がいる舞台上で歌唱パフォーマンスをする。人前に立つ事に慣れるための練習をする。	2・後	45	1				○	○			○	
44	○		演技・パフォーマンス	「自分を表現すること」「人前に立ち自分を曝け出す事」に慣れる。様々な事に対応できるようにアドリブ力を鍛える。	2・前	30	1				○	○			○	
45	○		SNSビジネス講座	配信業界の最新情報を個人や外部企業の講師から学ぶ。外部企業がどのような配信ビジネスをしているのか、マネタイズの仕組みや求めている人材像などを理解する。	2・後	15	1	○				○			○	
46	○		企画構成Ⅱ	テレビや配信の「企画」や「コーナー」を自分で考え、簡易的な企画書の作成に挑戦する。実際にテレビなどで行われている企画を模倣し、体験する。	2・通	30	1					○	○			○
47	○		ヴォイスドラマⅡ	なるべく多くの台本や題材を使って、バリエーションのある役柄を演じる。高い表現力習得を目指し、それぞれが進むタレント活動の手助けになるよう指導する。	2・前	30	1					○	○			○
48	○		バラエティ表現	「1人の場合」「複数人の場合」などさまざまな状況でのトークに挑戦する。バラエティの現場で求められる「立ち振る舞い」についても学ぶ。	2・前	30	2	○					○			○
49		○	オリジナル曲制作	DAWのサンプル素材などを組み合わせ、楽曲として成立させる。普段聴いている曲はどのような構造になっているのかなどの解説も交え作曲の基礎について学ぶ。	2・前	30	1					○	○			○
50	○		芸術鑑賞Ⅱ	ライブやイベントを課外授業にて鑑賞し、エンターテインメント業界への知識を深める。	2・通	30	1					○		○	○	
51		○	イベントゼミ	体験入学や学園祭など、配信クリエイター科の学校行事やイベントのスタッフを経験することによって、就職や自分の活動など社会に出てから役立つ対応能力を養う。	2・通	30	1					○	○			○
合計						51	科目	1800 単位 (単位時間)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： ①期日までの学費納入 ②必修科目を含む年間800時間以上、卒業時1700時間以上の修了認定		1学年の学期区分	2期
履修方法： シラバスや初回授業(ガイダンス)で内容を確認し、期日までに履修科目の登録を行う		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。